

環境科学アドバイザー養成講座資料

第四教科資料

【生命の仕組みと健康②】

■森と樹木と生命…P1

■ミネラル元素はなぜ微量なのか？…P3

■食物の役目とは？…P6

付随資料

- ◆人間の本质と肉体と心の仕組み
- ◆人間の実相

■ 森と樹木と生命

人も動物も大地や森や樹木から生命を頂いている

地球の自転活動はプレートに変動を与え、大地の隆起や起伏をつくり、やがて山脈や大山が形成されてゆきます。

大地の起伏は気温変動を促し、海から上昇する海水を雨に変え雪を降らせます。

山脈から流れる水はやがて大河となり草木を育て動植物の生命を繋ぎます。こうして、地球に微生物が誕生し、やがて樹木や動植物や人類誕生までに数十億年の歳月が掛かっています。

人類は何処から来たのか？

その魂は遠い星から来ても、肉体は個々の魂の必要な姿に合わせて、この地球大地の肉体に必要な元素を使って地球で造られます。

したがって、肉体は常にこの地球と自然と全ての生命と共存共栄して生きています。

■ 大地に一粒の種が落ちると、やがてその種が根を張り芽が出てきます。

そこには温度と水分と二酸化炭素と太陽の光があれば、やがて巨大な大樹へと成長してゆきます。

大樹の周辺には小さな樹木や草が育ち、野菜や穀物や果物が稔ります。

大樹や樹木は沢山の酸素を供給し、生死を繰り返しながら、人間や動物や昆虫や微生物の生命を育成しています。

全ての動植物は食物連鎖の中で生命を繋いでいます。

■ また、大樹や全ての動植物は水分や酸素や炭素ばかりでなく、太陽と太陰(月)と目で見えない大気中の生体電気エネルギーと大地の生体磁気エネルギーを受けながら生死を繰り返しています。

特に大樹はこのエネルギーシステムを巧みにとらえて成長するため数百年、数千年の歳月を経て巨大な大樹へと成長してゆきます。

まさに、太陽と太陰と、天と地のエネルギーの化身といえます。

高い霊性と豊かな生命エネルギーに満ち、宇宙との繋がりを持っています。

したがって、かつての豊かな感性と精神性を持った時代の日本人は大樹に高い霊性を見て、神が宿るとしてしめ縄をはって崇めてきました。

また、この大樹を柱にした時、物理的な自然エネルギー共振体となります。

この働きを応用したのが御柱や、大黒柱やえびす柱電磁気融合エネルギーシステムです。

■昔の大工さんは家を建てる時、山に入り、柱や梁、土台に使う材料を自分で探しました。

山の中には所々に一際高くてエネルギーの高い木があります。

動物でも木でも群れの中心となるボスやリーダーがいます。

リーダーのいない群れは滅びたり活性化しないものです。

山ではこの木を【金木】と言います。

その周辺の草や木や、森の成長を助けています。

こうした、自然界の繁栄の仕組みを理解していた大工さん達が、家づくりにおいて取り入れたのが、大黒柱やえびす柱でした。

大自然の山のエネルギーと住まいと人体が共鳴して生きてきた時代、健全な肉体と健全な精神と感性をもって、偉大な多くの日本人が存在していました。

■ミネラル元素はなぜ微量なのか？

薬もミネラルも取り過ぎると害になる

人間の肉体は高性能にする為に、とてつもない数の超精密部品が詰まっています。

これだけの精密な機材を金属、プラスチックで作ると、人間一人の体重は数百トンにもなり、人間の大きさもゆうに数十メートルを超えてしまいます。

従って、人体は軽量かつ小型で精密で高性能にするため、金属やプラスチックを使うことなく超軽量な元素である水素や炭素や酸素といった大気中の元素99.5%で造られています。

しかも、この一億分の一センチといわれるこれ等の元素はそれ自体で高い情報能力をもっています。

水素と酸素で生命の元である水が生まれ、炭素が加わり炭水化物を造り、窒素が結合してたんぱく質を造ります。
全ては大気中のエネルギー体の元素です。

これ等の元素が集まって百～2百分の一mmといわれる細胞を造ります。
この1個の細胞がまさに広大な宇宙に匹敵する世界を持つと言われます。

人体とはこうした高性能の生命体である細胞60～70兆が集まった集合体です。
未だに、人類は空気中の目で見えない微細なエネルギー元素から細胞一つ造ることは出来ません。
それほど、人体とは高度な有機体です。

また、人体は非常に軽量で微細なエネルギー体で有るがゆえに、大地を形成する人体必須ミネラル元素と言えども僅かな量でも増えると、人体には大きな負担や障害になります。

ミネラル元素は比重が極めて高いことから、99.5%の三大生命元素と0.25%の窒素とのバランスを図るには、全て合わせても全体の0.25%しか許容量がありません。

■生命体を造るのに欠かせないのがこの比重の高い数多くのミネラル元素です。

窒素(原子番号 7:酸素よりも軽い、多くの生命の必要分子を造る元素です)・カルシウム・リン・カリウム・マグネシウム・鉄分・亜鉛等があります。

骨を造ったり、筋肉の運動に働くカルシウムや、血液の血小板に働く鉄分、生殖機能に欠かせない重金属の亜鉛等、ミネラル元素は生命を造ったり、維持するのに欠かせないものですが、人体は健康な時にはこうした調合を絶妙なバランスで行っています。

まさに、人の体は薬剤師の役も医師の役も兼ね備えています。しかし、こうした免疫機能が働く為には 36.5℃という体温と、生命力が必要です。

■三大生命元素である水素や炭素や酸素と、こうしたミネラル元素が結合しあって人間の肉体を造るのに必要なアミノ酸や塩基、さらに、たんぱく質や炭水化物、脂肪等の分子を造ります。

48 種類もあると言われる人体必須栄養素もこうした化合物です。

しかし一方で、一酸化炭素や二酸化炭素、塩酸や青酸カリ等の非常に危険な化合物にもなります。

(青酸カリ等は楊子の先に少しの量でも致死量になります。)

病気の治療に使う薬などもこうした刺激性の化合物ですが、配合や分量一つで危険と裏表となるため薬剤師による調合や、医師による投与が必要となるのです。

■サプリメントや栄養剤には多くのミネラル成分も含まれますが医薬品外であることから、とかく過剰摂取により薬以上に危険な場合もあります。

かつて、蛎殻や海草からカルシウムの錠剤を製造販売していた知人が、カルシウムだけでも過剰摂取によって体調を崩していましたが、ある時、48 種類の人体必須栄養素を全て配合した画期的な錠剤を開発製造したから、これさえ飲めば全て満たされると言って発売を初めました。

カルシウムだけでも取り過ぎて体が悲鳴を上げているのに、さらに、毎日それだけの栄養剤やビタミンやミネラル成分を取り込んだら危険だと忠告しましたが、発売間もなく60代で急死してしまいました。

ミネラル成分は不足時よりも過剰摂取が最も危険になります。また、色々なものが配合されることによって危険な化合物に変化するリスクもあります。

■各種サプリメントの製造や販売を手掛け、過剰に摂取することで体調を崩して病気になったり、亡くなったりするケースが良く見られます。特に男性は女性に比べて生理的能力が低いために影響を受けやすい。

■同じ生命体である樹木や植物は、完全に植物の生体機能に備わった生命バランスだけで生きているため、人間に比べて非常に高い生命力と、生命体としての霊性を保っています。

植物が病気になる時は、人間による環境汚染や、農薬や化学肥料の過剰投与によって土地も作物も駄目にしてしまっています。

魚でも他の食物でも養殖や人間の栽培したものより、天然物や自生のものの方がエネルギーが高く美味しいのです。

従って、健康管理の為には、出来るだけ多くの種類の食物を、成分だけ抽出することなく、全体で食べ合わせることが大切です。

ミネラル分等の過剰摂取を避けバランスの良い食物摂取が出来ます。

疲労や病や癌の原因は、けっして栄養不足やミネラル不足ではなく、化学製品や電磁波による生活環境における生体エネルギーの不足と、それらによる身体への悪影響であることを理解することが大切です。

■ 食物の役目とは？

食べ物は絶え間なく続く細胞の再生に使われる

金属やプラスチック等の固形物の部品で作られ、荒い波動のエネルギーを動力源とする人工のロボットや乗り物や機械と異なり、人体は軽さと柔軟性と精密さを兼ね備えて、さらに常に新鮮さを続ける為に、人間は食べ物を補給し続けます。

金属やプラスチック等は磨耗したり、錆びたり、金属疲労したりし耐久性が低下し、精度が狂ってきます。

しかし、人体は常に水や食料を取り込むことで、骨格や筋肉、内臓、脳細胞、血管、神経網等の新鮮さを保ち続けます。また、脳細胞は新しい情報や知識を吸収しながら長い年月、自立して活動することが可能です。

人間が生命を維持する為には、血液循環や呼吸は片時も欠かせないのはその為です。

■ 人体には五感が備わり、危険を避けたり、選択したり、判断したり出来るようになっています。

人体に必要な水や食料を飲んだり食べたりする時には、視覚や臭覚や触覚で選別し、最後には味覚で判断します。

水や食料は胃で消化された後、腸で吸収され、肺で吸収される酸素と共に血管を通して、全身の細胞に供給されます。

こうして、常に細胞の交代が行われ、生命の再生が行われています。

■ 水や食料と同時に酸素の取り入れを行い、肉体の再生が行われると、役目の終わった水や食料や崩壊した細胞は排泄物となって体内から排泄され、酸素は炭素と結合して二酸化炭素となって、呼吸によって一瞬も休みなく放出されます。

樹木はこの人間や動物の出す二酸化炭素を吸収して、光合成によって炭素

を体内に残して成長しながら、酸素を放出します。
樹木や作物は食料としてだけでなくこうして、人間や動物と生命のやり取りをしています。

しかし今、産業による化石燃料の大量消費が、二酸化炭素の急激な増加をさせて、地球温暖化による諸々の異変を引き起こし生態系に危険をおよぼしています。

■こうして、人間の肉体は人工のロボットや乗り物や機械と異なり、その本体は常に自然の中の動植物や空気や大地と繋がり、一体化して生存しています。

そして、この肉体と全身の身体機能を活動させているエネルギー源は化石燃料ではなく、まさに驚異的な超エコシステムなのです。
次項【生命エネルギー】の項で解説します。